

**【静岡県静岡市】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）**

自治体名	静岡県静岡市
担当課名	教育委員会学校教育課
電話番号	054-354-2521

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	678746人	部活動数（運動部）	362部活
公立中学校数	43校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	14495人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

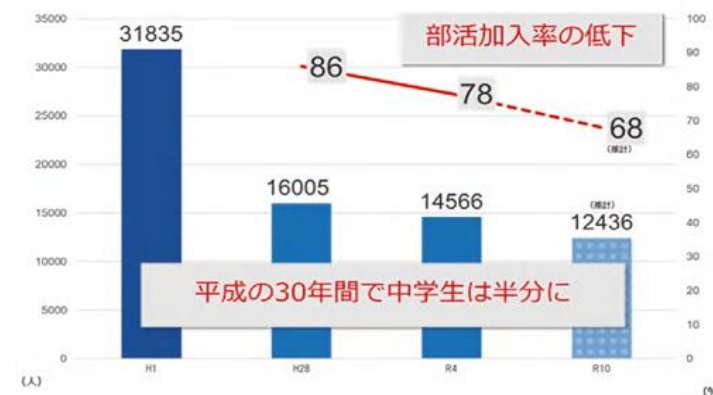
静岡市の中学生は、平成の30年間で半減し、学校規模の縮小に伴い、部活動の休廃部が進み、子どもたちの選択肢や部員数の減少、指導者不足といった課題が顕著になっています。

改革を進めるにあたり、児童、生徒や保護者へのアンケートを通してわかったことは、学校規模による機会格差です。保護者は、適正な活動時間の中で、自身の興味のある種目に主体的に取り組むことや仲間とのつながりを築くことができる活動であることを望んでいることわかりました。

一方、本市には中学生を対象とした総合型スポーツクラブ、民間クラブ等が十分でなく、市内の中学生を受け入れる体制整備には時間を要することも見えてきました。

こうした現状を踏まえ、学校規模に左右されず市内全域で子どもたちがスポーツ・文化芸術に親しむ機会を保障するため、学校単位の部活動に代わり、新たな活動の場を市が主体となって創出することが必要であるという結論に達しました。

市の事業として、持続可能で健全な活動の場を用意するには、さまざまな検討課題があるとも現状の部活動との並走期間の中で、関係者が混乱なく活動に参画できる計画を策定することが重要と考えています。



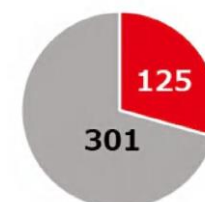
Q 入学予定の中学校の部活動にやりたい種目はありますか



さらに11学級に満たない学校では、



Q,10人以下で活動している部〈R5.8〉

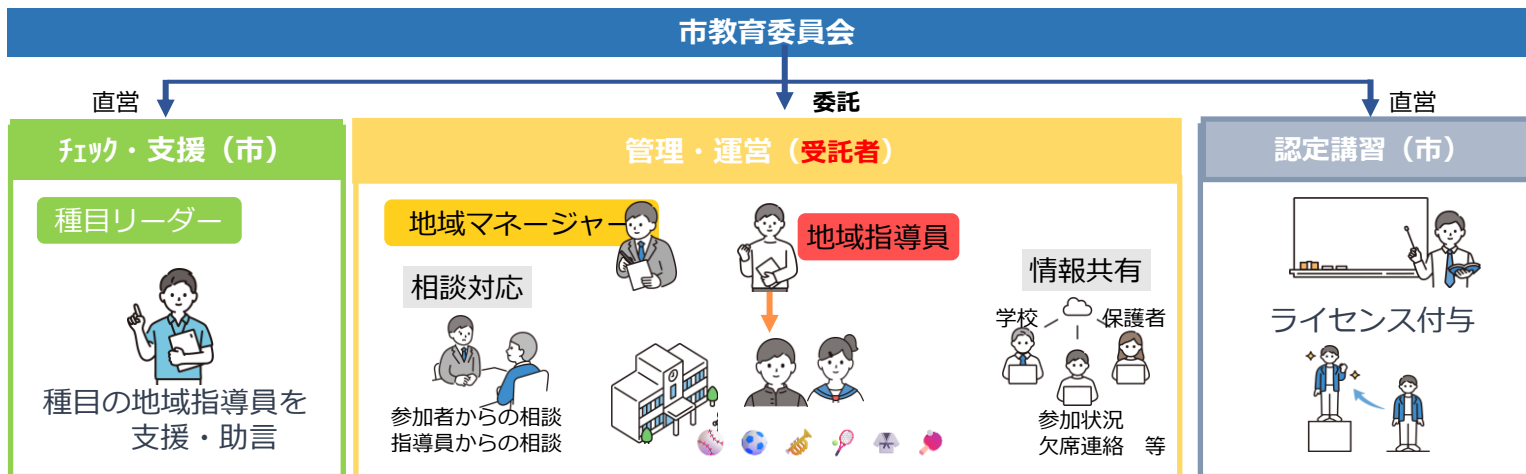


全体の3割が10人以下で活動

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図） ※イメージ図



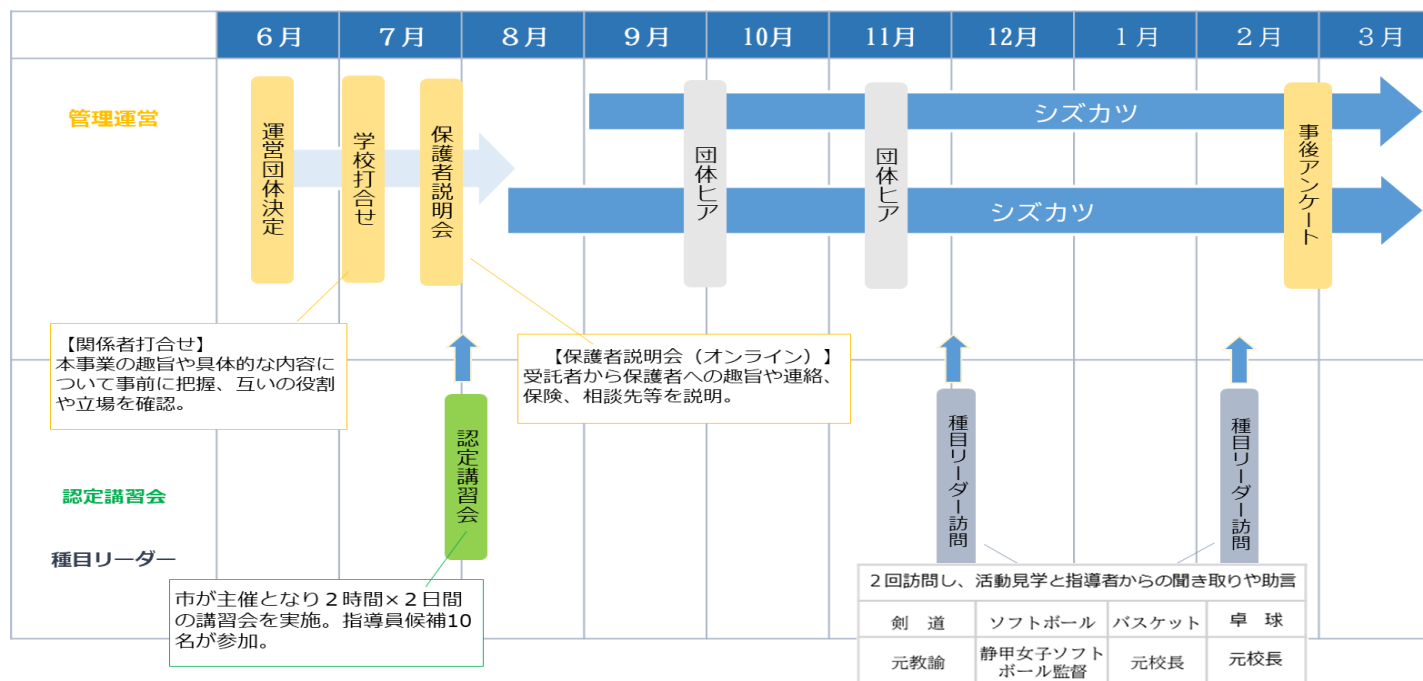
▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会（学校教育課）**が主体となって事業をになっている。

市の事業として**管理運営**を地域の団体等に委託し、学校施設を利用してスポーツ・文化芸術活動を実施する。

健全な活動を保障するため**指導員講習会**、**種目リーダーの訪問**によるチェックも実施する。

年間の事業スケジュール



2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

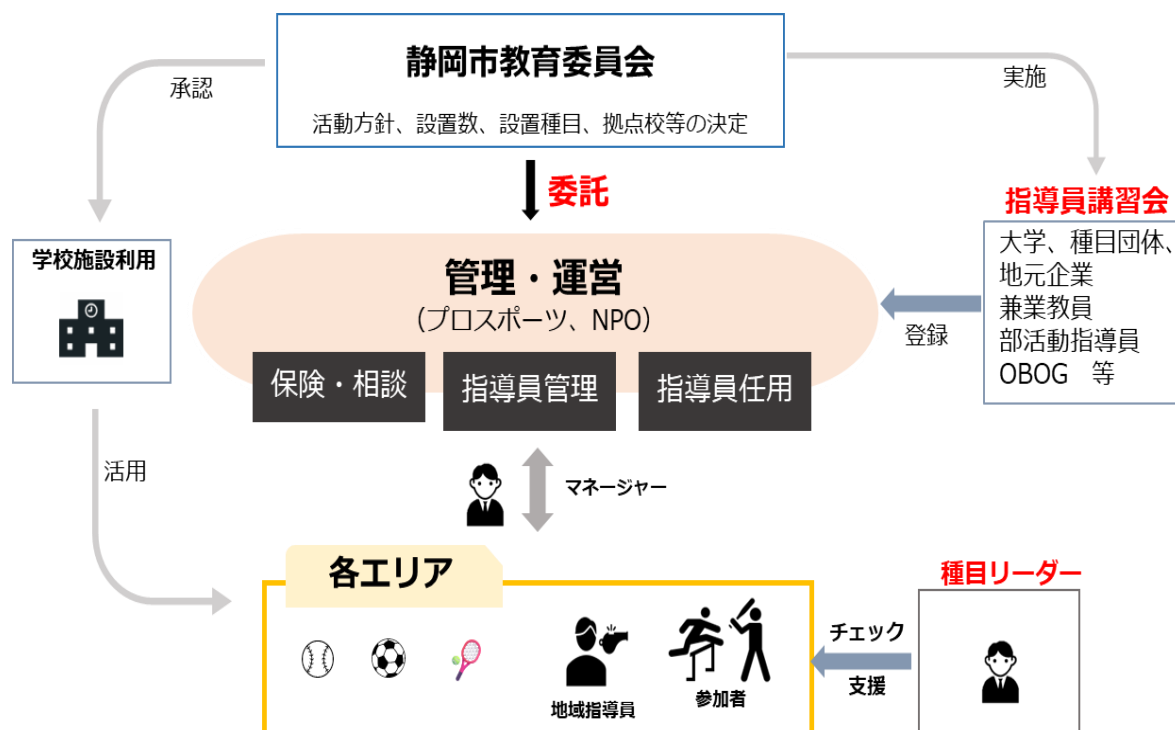
拠点校数	4 校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	女子バスケットボール、卓球、剣道、ソフトボール
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	4 部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	長田南中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	2 部活
地域クラブ活動で実施した種目	ソフトボール、剣道
運営主体名	エスアカデミアスポーツクラブ
運営類型	市区町村運営型（地域団体人材活用型）
1 か月あたりの平均的な活動回数	: 月 4 回程度
指導者の主な属性	兼業教員、部活動指導員
活動場所	長田南中学校
主な移動手段	徒歩及び自転車
1 人あたりの参加会費等（年額）	0 円
1 人あたりの保険料	生徒 1 人あたり：40 円/年 指導者 1 人あたり：3,100 円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

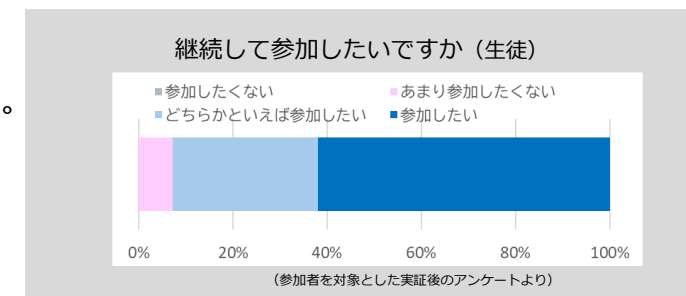
▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

休日の活動を希望する生徒たちが、学校管理外の活動として、市が委託した運営団体のもとスポーツ活動を実施。
受託者のもとでの「シズカツ」の管理運営、マネージャー制や複数体制の有効性を検証する。

取組の成果

参加者の継続希望は多く、自由記述においても生徒から肯定的な意見が多かった。
その要因には、指導者の2名体制や事項だけでなく近隣校と仲間とともに活動したエリア制の効果もある。

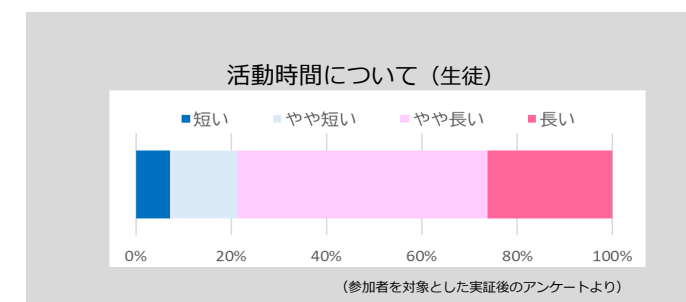


特に工夫した事項

一部の指導員に負担が偏ることなく持続可能な体制の構築には、学校や保護者との連絡調整を担うマネージャー、および2名体制は必要。
ただしマネージャーの役割について主任指導員との業務のバランスを変えて、継続して検証する。

今後の課題と対応方針

活動量が想定以上になった理由としては、マネージャーによる時間管理が要因ではあるが、その背景には大会等の対外試合が日常的に行われており、そこへの参加もシード権や慣習等の影響から活動せざるを得ない実態がある。



2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

- ・指導者の育成を図り、健全な活動を帆書するため、市が主催して講習会を実施。
- ・適切な指導方法を助言やハラスメントのチェックができる、種目リーダーによる訪問指導を、期間内に2回実施。

取組の成果

最新の指導法やケガの対応等を知る機会となり参加者からは好評であり、指導力の向上につながるものであった。

指導経験が豊富は第3者「種目リーダー」からのアドバイスをもらい、自信をもって指導できるようになったと好評であった。

＜講習会の量（時間・日数）について＞

多い…1人
普通…9人
少ない…0人

- ・時間は3, 4時間程度でいい。
- ・年1回は受講した方がよい。
- ・更新時（新規）に2日分。+半年に1日分
- ・個々のニーズに合わせ選択できるといい。

＜内容について＞

参考になった…10人
参考にならなかった…0人

＜他にどのような内容があるといいか＞

- ・今回の内容はすべて必要
- ・食生活や栄養学の知見
- ・色々な競技の話を聞いて、交流ができると嬉しい。
- ・プレイヤーズセンタードを実践するため講習。

特に工夫した事項

指導員に求める資質を明確にした上で、活動方針、思春期の子ども理解、ケガや熱中症等の対応、子どもの主体性を伸ばす指導等の講義を講師を招き実施。

元教員、社会人チームの監督など指導経験が豊富な人材に依頼し、訪問指導。

指導員に求める資質

シズカツの活動方針や思春期の子どもの発達理解している。

成長の場となるよう主体的、協働的な活動を大切にできる。

事故やケガを未然に防ぐなど安全な活動を保障できる。

今後の課題と対応方針

本格実施に向けて、講習会の機会拡大とともに、一般市民に広く周知するとともに、講習会の開催回数を増やす。
講習内容を精選し、4時間以内で1日の研修会を実施する。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

種目団体に対して、説明会を実施し、本改革の周知や指導員の確保策、これからの大会のあり方について協議。

取組の成果

本市からの呼びかけに対し、9団体18名が参加し、本市の地域移行のスケジュール等について情報提供を行い、理解を深めることができた。地域移行に伴い、子どもたちの参加機会を確保できる大会形式や指導員の確保について、各種目団体でも検討していただくお願いをした。

特に工夫した事項

本年度の説明会は、参加しやすいようにオンラインでの開催し、説明と協議後に各種目団体ごとアンケートを提出いただき、現状の把握に努めた。

今後の課題と対応方針

教員主体で担ってきた大会運営、学校単位で参加していた参加資格等を見直すことが必要だが、市単位だけで検討することが難しい。国または県単位でも検討いただきたい。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

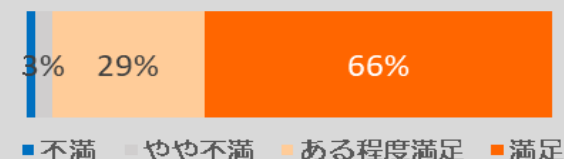
取組事項

地域クラブ「シズカツ」前段階として、部活動のチームを「学校単位からエリア単位」へ編成する地域連携の取組を、学校の実情に応じて進める。

取組の成果

令和5年度から、近隣校単位の「エリア制部活動」を実施。令和5年度は、市内25部で実施。中体連をはじめ各種大会にエリア制部活動として参加。他校生徒と共に、活動することで、活動の質の向上が見られた。

Q エリア制部活動に満足していますか〈実践校抽出調査〉



特に工夫した事項

近隣校単位のエリアにてチーム編成し拠点校を中心に活動する、学校管理外の地域クラブ「シズカツ」への展開を、令和8年度と定め、学校をはじめ関係者への理解を求めていく。

今後の課題と対応方針

学校間の連絡調整、エリア制部活動を担う顧問教員への負担軽減や、参加者（保護者）への理解が求められる。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

適切な活動量の中で、生徒の自主性を尊重し、教育的活動として実施する。

取組の成果

活動開始前に指導員に対して講習会の実施。マネージャーによる計画書や活動実績の管理、さらには種目リーダーによる訪問による健全な活動へのチェック、支援を行った。ハラスメント等はなく、実施できた。

特に工夫した事項

上記の通り、一部の指導員だけが担うのではなく、クラブ運営に関わる関係者を増やすことや、事前に市の講習会を実施し指導員のマインドセットを行った。

今後の課題と対応方針

従来の部活動顧問が担ってきた、大会等の運営、学校教育への補完的活動、保護者対応なども対応することは未知数であり、過剰な負担がある活動は持続的でないと考える。そのため従来の部活動からモデルチェンジする関係者の意識転換も必要と考えられる。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和6年度 静岡市立中学校へ入学する皆さまへ 2024.1

部活動改革が始まっています！

少子化や働き方改革等が進展する中、従来の学校が運営する部活動から、活動の場を地域に移行する改革が全国で始まっています。

静岡市では、学校規模に左右されず、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる機会を保障するため、部活動に代わって地域クラブ「シズカツ」を創設していきます。

「部活動」から静岡市の新しいブカツ「シズカツ」へ

●地域クラブ「シズカツ」とは●

- 市が運営する学校管理外のクラブです。
- 結果や競技力向上を第一とせず、子どもたちのバランスの取れた成長を促す活動です。
- 近隣校単位（エリア）でのクラブです。

●地域クラブ「シズカツ」の特徴●

- エリア内の生徒であれば誰でも参加可能です。学校規模に左右されず種目が選択できます。
- 競技経験又は指導経験のある指導者（各2名）の下、活動ができます。
- 校内だけでなく学校以外の新しい仲間や地域の大人と共に活動ができます。
- 活動場所は、エリア内の学校施設を想定しています。
- 現在のエリアにある部活動の種目を中心に、安全性や子どもたちのニーズをもとに設置種目を決定します。（部活動になかった新種目のクラブや複数種目が経験できるクラブなどの設置も考えられます。）

いつから変わっていくの？●

- 令和6年度、休日のシズカツの実証事業を市内数校で実施します。
- 令和7年度から、休日の部活動に代わってシズカツを段階的に実施し、令和8年度夏には、すべての学校で休日の部活動を終了し、シズカツを全市展開することを目指しています。
- シズカツの前段階として、部活動のチームを「学校単位からエリア単位」へ編成する取組を各学校の実情に応じて進めています。（エリア制部活動）

～全国的に、様々な形で公立中学校の部活動の地域移行が進められています～

国の方針性

- まずは、休日の部活動を段階的に地域移行する。
- 令和5年度から3年間を改革推進期間とする。

国の部活動改革に係る情報は右記QRよりご覧ください。⇒

静岡市教育委員会学校教育課 静岡市 部活動 検索

部活動改革便り① 「市の方向性と段階的な取組」 教職員のみなさま 2023.11

部活動改革は、部活動のカチカチを、子どもたちにとって持続的で有意義な場へ変革していくものです。

部活動は、これまで中学生のスポーツ・文化芸術活動を担い、魅力ある教育活動として実施されてきました。しかし、少子化により平成の30年間で本市の中学生は5割減少するなど学校規模が縮小され部員不足や休廃部の増加しました。さらにはニーズの多様化、国の休日の地域移行などから、従来の学校単位で運営する部活動のままで、子どもたちの有意義な活動を維持することが難しい状況です。

そこで、静岡市では、学校規模に左右されず、子どもたちがスポーツ・文化活動に親しむことができる機会を保障するため、地域の皆様や学校の協力をいただきながら、部活動に代わる新たな機会の創出を目指しています。

R3より2年間に渡り、延べ7581名の生徒や保護者、学校、種目団体への調査、実践研究の成果をもとに「部活動改革検討委員会」「総合教育会議」等を実施し静岡市の方向性を決めました。

▼部活動改革の方向性

本改革によって地域に多様な活動場所が生まれ、子どもたちが自身の興味関心や志向に応じて選択できる環境の構築を目指します。

受け皿の一つとして、地域や学校の協力をいただきながら、近隣校単位（エリア）ごとに、地域クラブ「シズカツ」を創設していきます。

現在 NPO 部活動 任意団体等
R12 シズカツ 民間クラブ 任意団体等

R5.4 学校単位からの転換 R8.8 全市展開 R12 ※R5時点で想定

STEP1 エリア制部活動の推進 (エリア内の学校間で実施) STEP2 シズカツの休日展開 (休日は平日の1/2) STEP3 シズカツの全日展開

	平日	休日	平日	休日	平日	休日
活動	部活動		部活動	シズカツ	シズカツ	シズカツ
指導者	教員		教員	地域指導員	地域指導員	地域指導員
主体	学校		学校	市（運営団体）	市（運営団体）	市（運営団体）
内容	拠点校 or 自校		拠点校 or 自校	拠点校 or 自校	拠点校 or 自校	拠点校 or 自校
大会	単一校の部活と同等の扱いで出場（教員引率）		単一校の部活と同等の扱いで出場（教員引率）	地域クラブとして出場（地域指導員引率）	地域クラブとして出場（地域指導員引率）	地域クラブとして出場（地域指導員引率）

43校で約430部 学校の生徒が参加

15エリアで約200クラブ エリア内の生徒なら誰でも参加可

▼取り巻く状況

◆生徒数（部活加入者）の推移

	H28	R4	R10
16,005(13,532)	14,556(11,329)	12,436(8,456)	

◆10人以下で活動している部

125部[29%] (R5.8時点)
301

◆部活に入らなかった理由

- やりたいことを優先したい
- やりたい種目が無い
- 学業との両立

◆負担に感じること（上位3つ）

- 大会運営、準備
- 休日の活動
- 部員のトラブル

◆部活動数に対する教員数

12校不足 31校充足

今夏、抽出した生徒を対象に行ったアンケート結果についてはHPに掲載させていただきます。

静岡市 部活動 検索

【R6.2 市内全校に対して入学説明会で配付依頼】

【R5.11 市内全教職員あてのチラシ作成】

2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【休日は、近隣校単位のシズカツでの活動】



【「オール長田」（剣道）として大会出場】



【平日はエリア制部活動、休日はシズカツとして活動】

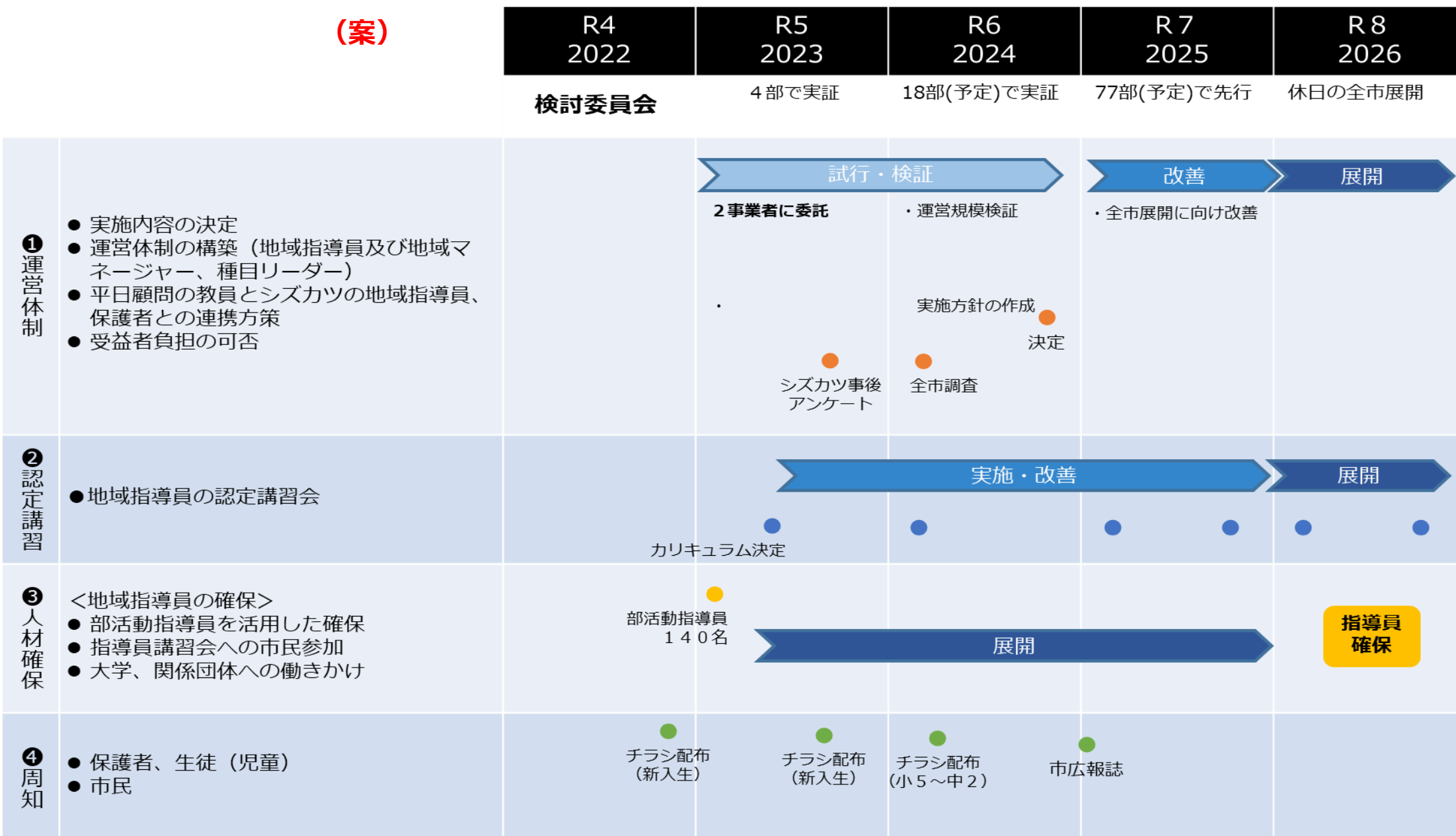


【オール長田（ソフトボール）として大会出場】

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

(案)



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

スケジュール（案）

